

発 言 者 ・ 会 議 の て ん 末 ・ 概 要

1 開会

司会（関口課長）

皆様、こんにちは。

本日は、お忙しい中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。
す。

本日の司会を務めさせていただきます 久喜市福祉部社会福祉課長の関口と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

最初に、本日の配布資料について確認をさせていただきます。

【資料の確認】

次に、事務局職員につきまして、前回の会議から人事異動により変更があった職員もおりますので、改めて紹介させていただきます。

【事務局紹介 福祉部】

【事務局紹介 社会福祉課】

【事務局紹介 久喜市社会福祉協議会】

それでは、ただいまから令和7年度第1回久喜市健康福祉推進委員会を開会いたします。

本日の出席委員数は、委員10名中9名でございますので、久喜市健康福祉推進委員会規則 第3条第2項の規定でございます定足数に達しておりますことをご報告申し上げます。

また、久喜市社会福祉協議会が設置する「地域福祉活動計画策定推進会議」におきましても、本委員会と同内容の事項を審議しておりますことから、事務局として、久喜市及び久喜市社会福祉協議会の職員が、双方の会議に出席をし、足並みをそろえて進行してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

また、「久喜市審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、本会議につきましては公開とするとともに、会議録の作成のため、会議内容を録音させていただきますので、ご了承ください。

会議録につきましては、作成後、会長にご確認をいただき、署名をもって確定とし、市のホームページに掲載させていただきます。

2 あいさつ

司会（関口課長）

それでは、次第の2でございます。樋口会長から、ご挨拶をお願いいたします。

樋口会長

（あいさつ）

司会（関口課長）

ありがとうございました。

3 議事

司会（関口課長）

それでは、次第の3 議事に移ります。

議長につきましては、久喜市健康福祉推進委員会規則 第3条第1項の規

定により、会長が務めることとなっております。

樋口会長、よろしくお願いいたします。

議長（樋口会長）

それでは、議長の職を務めさせていただきます。議事が円滑に進みますよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、次第の3 議事の「令和6年度における第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について」を議題といたします。

事務局から説明をお願いします。

事務局説明（社会福祉課）

「令和6年度における第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画」の進捗状況のうち、市の取組みについて、ご説明させていただきます。

「資料1」をご覧ください。

計画で定めております「基本目標」及び「重点施策」に基づき、市の関係部署がそれぞれ、事業を実施しております。

「資料1」は、令和6年度に、地域福祉計画に掲げる関連事業を実施した担当課が、当該事業の進捗状況について、5段階で自己評価したものになっており、実施事業は、延べ55事業でございます。

この55事業の評価でございますが、担当課が「順調に進んでいる」と評価した事業は、43事業、「概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある」と評価した事業は、12事業ございました。

また、そのうち、令和5年度事業と比較し、評価が上がったものが6事業、下がったものが2事業ございました。

本日は、限られた時間のため、このうち5事業について、ご説明させていただきます。

はじめに9ページをご覧ください。

取り組みの内容「健康づくりや介護予防に取り組む」のうち、高齢者福祉課の事業でございます。

事業内容は、資料のとおりでございます。令和5年度と比較しますと、高齢者に対する健康相談については、10回増の73回、参加延べ人数は、166人増の856人、はつらつ運動教室の会場は、2会場増え39会場、一方で、ご近所型 介護予防体操 支援事業については、1団体減の2団体となっております。

また、8ページでございます。はつらつ運動教室を運営する介護予防ボランティア「はつらつリーダー」の年間養成人数については、前年比7人増の8人となっております。こちらは、56ページの別表、上から3段目の「指標3」にも記載してございます。

担当課としましては、はつらつ運動教室について、順番待ちが発生している会場があること、はつらつリーダーの養成人数が少ないことから、令和5年度評価から1段階下げ、「概ね順調、一部不十分」と評価しております。

はつらつ運動教室については、20ページの「地域住民の交流の場となる活動拠点として、公共施設や民間施設を活用した交流の場づくりを支援」でも事業として掲げております。

こちらも、同様の理由により、評価を下げ「概ね順調、一部不十分」としております。

つづきまして、29ページをご覧ください。併せて56ページ、別表の一番下「指標12」もご覧ください。

取り組み内容は「包括的な相談支援体制を構築」で、社会福祉課が担当でございます。

事業内容としましては、令和5年4月1日に「ふくし総合相談窓口」を

設置し、複雑化、複合化した内容の相談や、どこに相談したらよいのか分からないといった内容の相談対応を実施しております。令和6年度は、

「本人や家族の収入・生活費に関すること」

「本人や家族の医療・介護（施設入所）に関すること」

「家族や地域住民の病気や障がいに関すること」

「家族やご近所のトラブルに関すること」

など51件の相談を受けました。相談者が固い表情から少しでも安心された表情になるように話を聞き、必要な関係機関と連絡を取り合い、つなぐことで、問題解決に寄り添いました。相談を受けた内容につきましては、全て、関係機関へつなぐことができましたことから、別表の指標12は、100%を記載させていただきました。

評価としましては、相談者の相談に向き合い、関係課につなぎ、連携をしながら支援を実施することができ、また、ケース会議による事例検討にも参加することで、様々な知識の習得にもつながっていることから、令和6年度は評価を1段階上げ、「順調に進んでいる」としたところでございます。

つづきまして、38ページをご覧ください。

ケアラーへの支援のうち、こども家庭保険課の実施事業でございます。

内容としましては、関係部署との連携により、ヤングケアラーの早期発見に努め、対象者を把握した場合には、必要な支援につなげるというものです。

また、令和6年度に開始した、市内小中学校や保育所の職員を対象とした児童虐待防止に関する説明会の中で、ヤングケアラーが疑われる児童の情報提供について、依頼を行っております。

ケアラーへの支援につきましては、35ページ以降、教育委員会や福祉部でも取り組んでおり、部門をまたぐ関係各課の連携により、早期発見と

適切な支援に繋げる体制が構築できていることから、担当課としては、評価を1段階上げ、「順調に進んでいる」としたものでございます。

つづきまして、42ページをご覧ください。

取り組み内容は「要援護者の見守りや登下校時の見守り活動の支援」で、社会福祉課が担当でございます。

事業内容としましては、システムを活用し、災害時の援護や日頃の見守りが必要な要援護者の台帳を作成し、地域の支援者である区長や民生委員・児童委員、自主防災組織の皆様を提供することにより、日ごろ、地域で行っている見守り活動に活用していただきました。

また、地域の支援者を対象に、要援護者見守り支援事業に関する合同研修会を4回開催し、合計313人のご参加をいただきました。

なお、民生委員・児童委員協議会では、小学生の登下校時に校門にて、あいさつ運動を行うなど、地域で見守り活動を行っております。

評価でございますが、令和5年度は、本事業について、周知を図ったものの、充分ではなく、新規登録者が86人であったことから、「概ね順調、一部不十分」としたところです。

令和6年度の評価でございますが、区長や民生委員の皆様との連携により、地域で要援護者の見守り活動や登下校時の見守り活動を行う体制が構築できており、さらに、研修会を通じ、当該事業の周知が図られ、支援者の役割や支援の仕方について、理解を深めることができたこと、また、新たに、ケアマネジャーの事業所に制度の周知を行うなど、援護を必要とする方に更なる周知を行った結果、新規登録者が166人となったことから、「順調に進んでいる」としたところです。

ここまで、評価に変動があった事業の中から、5つの事業についてご説明させていただきました。

今後も、関係各課、関係機関と連携し、計画で掲げる施策の実施によ

り、地域福祉の充実に努めて参ります。

「市の取組み」のご説明は、以上でございます。

なお、資料送付の際、ご質問がございましたら、電子メール等でお送りいただきますようお願いいたしましたが、事前のご質問は、なかったことをご報告いたします。

事務局説明（社会福祉協議会）

続いて、社協の取組みについて、ご説明させていただきます。

「資料2」をご覧ください。

社協においても、担当課が進捗状況を5段階で自己評価しており、令和6年度の実施事業は、延べ20事業で、すべて「順調に進んでいる」と評価しております。

令和5年度評価では19事業を「順調に進んでいる」、20ページの1事業「地域福祉事業や在宅福祉事業を円滑に実施」については、「概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある」としたところですが、令和6年度評価では、この1事業についても「順調に進んでいる」と評価しました。

理由としまして、20ページの表の真ん中をご覧ください。実施事業のうち、④福祉有償運送事業という、車いすに座ったまま乗り入れが可能な車輛（7台）で、利用者さんを送迎するという事業があるのですが、ボランティアの高齢化や、こちらの車輛が老朽化していることから、令和5年度評価においては「概ね順調、一部不十分」と評価したところでした。

今回6年度評価にあたり、評価方法を再考いたしまして、車輛は老朽化しているもののそれを理由に利用者からの依頼を断る事例はなかったこと、寄せられるニーズにはすべて応えられていることを踏まえ「順調に進んでいる」と評価したところでした。

なお、福祉有償運送事業については、記載のとおり、車輛の老朽化、運転ボランティアの高齢化、介護タクシー等の充実により令和6年度をもって事業終了とさせていただきます。

続いて、計画指標に関する説明をさせていただきます。

21、22ページをご覧ください。

別表は一番右が担当課となっており、24ある指標のうち、社協は7つの指標を担当しております。担当課の左が第3次計画として目指している令和9年度、又は年間の目標値となっております。

社協担当指標について、上から順に説明させていただきます。

指標No.4 ボランティアセンター登録新規団体数です。年間目標値3団体について、令和5年度は新規登録1団体で未達成であったところですが、6年度はボランティア募集の周知に特に力を入れてまいり、5団体の新規登録があり、目標値を超えることができました。

指標No.5 ボランティアセンター登録新規個人数です。年間目標値15名のところ令和6年度は、新規登録10名と目標値には至りませんでした。ボランティア活動については、新型コロナウイルスによる制限等もあったことから令和5年度についても新規登録5名と未達成であったところですが、こうしたことから6年度については、先ほどの指標No.4で説明させていただいたとおり、周知に力を入れてまいり、目標値には届きませんでした。新規登録者を10名まで増やすことができました。

引き続き、あらゆる機会を利用して周知や各種講座の開催等によりボランティア活動につながるよう努めてまいります。

続いて、指標No.7 くき元気サービス新規登録協力会員数です。年間目標値新規登録10名に対し、令和6年度は新規登録6名でした。令和5年度の9名と比較しても減少してしまったところですが、6年度の特色としまして、30代、40代の比較的若い世代の会員登録がありました。高齢者

等の身近なちょっとした困りごとの助けを行う元気サービスですが、活躍されているのは主に60代、70代の方々です。今回の若い世代のようにあらゆる世代から協力会員が得られれば、色々な困りごとがある中、元気サービスとしてより幅広く対応できると考えておりますことから、大変貴重な加入でした。

参考として令和7年度の会員登録状況ですが、先月の社協だより2月号に元気サービス関係の記事を掲載した反響もあり、現在のところ8名の新規登録をいただいているところです。引き続き、様々な手段を用いて、幅広い世代から協力会員の獲得に努めてまいります。

続いて、指標No.8 地区あったか会議新規設置数です。年間目標1箇所の新規開設に対し、令和6年度 新規開設1と目標達成となっております。鷺宮地区において、第1回わし宮団地あったか会議が開設されました。当日は、皆さんで認知症の方への支援をテーマに情報交換を行いました。

続いて、指標No.11 ふれあい・いきいきサロン新規登録数です。年間目標3箇所の新規開設に対し、6年度は、久喜地区にて5、鷺宮地区にて1、計6カ所の新規開設があり、目標達成となっております。

続いて、指標No.14 地域福祉活動計画の説明、概要版配布です。当初お送りした資料では、目標値が空欄でしたが、その後、修正させていただき、令和9年度末において4,000部の配布を目標としております。

計画初年度の令和5年度に特にこの計画の周知に力を入れ、社協理事や評議員といった社協関係役員をはじめ、ボランティア活動者やサロン活動者といった地域活動実践者の方々、社協事業等に参加いただいた一般住民の方々、福祉事業所や福祉関係機関といった専門職の方々と、主だった皆様に対して説明を行い、概要版2,153部を配布しました。令和6年度は社協事業参加者を中心に289部を配布し、5年度、6年度の累計で2,442部を配布しております。

最後に指標No.19 あんしんカード配布数です。年間目標 1,000 部に対し、6年度は 2,108 部と目標達成しております。社協では、社協開催イベントや地域への出前講座等を利用し、このカードをお配りしておりますが、併せて民生委員さんのご協力により、見回り訪問時等に地域の皆様に渡していただいたことが、目標を大きく超えることができた要因と考えております。

資料2「社会福祉協議会の取組み」のご説明は以上です。

議長（樋口会長）

ただいま事務局から説明がございましたが、委員の皆様から、ご質問、ご意見等はございますか。

私のほうから1つお聞きしたいのですが、昨年の委員会の際に、小杉委員から、市民目線による評価をお願いしたいとありました。

これについて、事務局のご説明をお願いいたします。

事務局（関口課長）

それでは全体的な考え方というところですので私の方からご説明をさせていただきますと存じます。

こちらの評価につきましては、実は私ども社会福祉課だけでなく、様々な課で行っている事業を取りまとめるような形で計画の中に位置付けをさせていただき、評価をさせていただいているところでございます。

その際に、昨年ご指摘をいただいたところもございましたので、私どもの方としては、地域福祉計画を進めるにあたって、その事業がどのような役割を果たしたのかという視点で評価をして欲しいということで、改めて担当課に依頼をさせていただいたところでございます。

なかなかそれぞれの部署でそれぞれ自分の事業を評価いたしますので、

課によっては少し厳しめに見ているようなところもありますが、その辺りも含め、全ての課ではないですが、ディスカッションなどをさせていただきまして、今回の評価という形にさせていただきました。

まだ評価の内容は改善する点があるかとは存じますが、私共の方でも少しずつ改善をしていければというように考えております。

全体的な考え方としては、そのような形で今回評価をさせていただきましたので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

議長（樋口会長）

ありがとうございます。小杉委員いかがでしょうか。昨年、ご提言いただいた部分で、市の方、社協の方も、市民目線を取り入れた形での評価で取り組んでいるということでございますので、ご理解いただければと思います。

小杉委員

去年と比べると少し分かりやすくなっている感じはいたします。

ただ、昨年もお話しましたが、今年の部分は資料に載っていますが、昨年の実績は言葉でしか説明がなかったため、経過が分かるように、表にして欲しいと思います。

継続的な事業があれば、表を作って年度ごとに数字を入れていけば、最初は大変だとは思いますが、やりやすいと思います。

そうすれば、言葉で説明があって、目でも確認という形で分かりやすいと思います。

今日、私も前年の資料も持ってきて見比べたりしているのですが、見比べればこれで順調なんだなって分かるのです。

一度、そういったパターンを作ってしまうと、すごく楽だと思います

し、議会で質問があった際は、前年どうだったか、表を見ればすぐに分かるという形になると思います。

また、前年だけではなく、何年かの経過が分かるようにしていただけると、大変ありがたいです。

もう少し見やすい形にしていいただければ大変ありがたいと思います。

議長（樋口会長）

ただいまの小杉委員からご意見、ご提言等について、市や社協の方でご検討いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

他にご意見はございますか。

はい、吉田委員さん。

吉田委員

基本的かつ全体的なことになるかと思います。

この活動計画の冊子の60ページなんですけど。私、個人的な意見を申し上げると、この審議会に加入させていただいてから、いろいろ福祉の問題とかにさらに興味を持つようになりまして、非常に現場の方、かなり大変だなということも、察するに余りあるところがあります。

例えば、初めて病気になって福祉のお世話になる、介護になるといったときに、市役所の方にどこへ連絡をすればよいのか、60ページに市の取り組みと社会福祉協議会様の両方の取り組みで情報発信というのがあり、私もSNSとか、拝見しておりまして、いろいろ皆さんご努力されているということはすごくよく分かります。

ただ、情報発信の手法として、全体的なフローチャートのような形式で示していただきたく思います。

イエス、ノーという形でフローチャートがあれば、どこに連絡をすれば

よいのか、こういった質問をすればよいのか、具体的に分かるのではないかと考えておりますので、そういった取り組みもご検討いただければありがたいと考えております。

議長（樋口会長）

ただいまの吉田委員さんからのご意見ご提言を受けて、事務局の方からお答えをいただけますか。

事務局（関口課長）

大変貴重なご意見ありがとうございました。

お話を聞いてごもっともだと思いましたので、どの程度までできるかは実際作成してみないと分からない部分もありますが、他の自治体で同様の取り組みをしているところもあるかもしれないので、そういったところを参考にしながら考えようと思います。

例えば久喜市のホームページに載っていると、10人中8人ぐらいはそれを見ていけば分かる形であれば、大変それは市民の利便性に繋がることと考えておりますので、こちらについてはぜひ検討、研究をさせていただきたいと存じます。

大変貴重なご意見ありがとうございました。

議長（樋口会長）

ありがとうございます。

吉田委員さんよろしいでしょうか。

フローチャートができますと、さらに市民の方の利便性の向上になると思いますので、ご検討をお願いしたいと思います。

それではお時間の方も進んで参りましたので、次第3の議事については

以上ということでしょうか。

全委員

はい。

議長（樋口会長）

ありがとうございます。

以上で本日の議事はすべて終了いたしました。

円滑な議事運営にご協力をいただき、ありがとうございました。

これをもちまして議長の任を解かせていただきます。

4 その他

司会（関口課長）

樋口会長ありがとうございました。

続きまして、次第の4その他でございます。

委員の皆様から、本日の会議等についてまたそれ以外で何かご不明な点等がございますでしょうか。

小杉委員

久喜市の全体的な問題だと思いますが、情報発信やPRの仕方が下手だと思っております。

ホームページの形式が変わりましたが、スマホを見る方に見やすいように変えられたのかと感じます。

スマホを見る方は、何を調べたいのかをある程度分かっている方が調べますよね。

私の感じ方で、今のホームページがスマホ感覚で調べたいことが分かっ

ていて、調べるにはいいのかもしれないのですが、逆に違う情報を見ていて、特定の会議が気になり、調べたいというときに非常に見つけにくいと感じます。

具体的に言うと、広報くきには5つぐらいの公募が掲載されていますが、ホームページの新着情報には載っていませんでした。

私が市役所に問い合わせをしたところ、新着情報に載せてくれましたが、委員募集と書いてありました。

そうすると、表向きは分からないですね。審議会委員等の募集だとか、何か開かなくても見られるような形に表現をしていただきたいです。

ですから、この審議会も必ずホームページの新着情報に載せていただきたいと思っております。

この審議会が開催しますので、ホームページに載ってるかどうか、前回は確認したのですが、今回は、載せたかどうか確認はしてないのですけども。

必ず新着情報に載せていただかないと、会議録もこれから載せられるのでしょうけども、載せていただかないと、すごく見づらい形になってこれはホームページの構造上の問題で、ここの職員さんが悪いわけではないのですけども、そういう形になっているので必ず何かあったときに先ほどの、PRのこともありますが、関心を持っていただくためには、新着情報に載せていただきたいと思っております。

2ヶ月後の募集の締め切りがあっても、すぐに新着情報から消えてしまっています。そうすると、該当ページを探すのがとても困難で、スマホでどう調べればよいか、言葉を分かっている方はAIで調べやすくなっているのですが、そうでない方にとっては、非常に難しいと感じます。

これから、この審議会の議事録などを載せるとは思いますが、新着情報に載せていただきたいと思えますし、こういう意見があったということで、

ここの委員会だけではなく、市役所全体的にお話をさせていただければと思います。

ただ会議録を載せました、だけでは興味がわかないため、表題をしっかりと考えて欲しいです。

どうしても市役所は民間企業と違ってPRが下手なので、なおかつ、スマホの人や目的が分かっている人には優しいホームページというだけでなく、目的がない方にも見ていただけるホームページづくりが必要なのではないかと思います。

広報の載せ方とかPRの仕方を研究していただきたいなと思っております。これはまた要望ということでお願いしたいです。

事務局（関口課長）

大変貴重なご意見ありがとうございました。

まさにおっしゃる通りで、非常に我々も反省しなければいけないという点で、PRが下手というのは、まさにおっしゃる通りだと思います。

私ども、ここは本当に工夫して、分かりやすいホームページへの掲載でありますとか情報発信でありますとか、こういったところにつきましては、行って参りたいというふうに考えております。

表題については、ぱっと見たときに、会議録ではなくて、何々審議会の会議録を掲載しました、の方がよいというのは、まさにおっしゃる通りだと思います。

私どもの当委員会につきましても、そのような形できちんと掲載できるように、表現等は工夫して参りたいと考えております。

また、今、おっしゃっていただいたことを、ホームページ等を担当している、情報発信課の方にも、このような意見がありますということで、伝えさせていただき、より良い情報発信に努めて参りたいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

樋口会長

よろしく願いいたします。

若い人向けにスマホで、というのは非常にいい取り組みだとは思いますが。

ちなみに私は社会福祉法人で介護施設の事務長をやっておりますけれども、採用に関して、20代30代の方はパソコンを見ないそうです。

スマホしか見ないので、スマホで情報が取れるように、スマホ向けに編集してくださいと、よく言われます。

ただ、小杉委員さんからあったように、20代30代以外の市民の方もいらっしゃるから、全世代を踏まえて、そういう部分でご検討いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

司会（関口課長）

ありがとうございました。

他に委員の皆様から何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

全委員

はい。

司会（関口課長）

それでは、閉会にあたりまして、岩間副会長よりご挨拶をお願いいたします。

岩間副会長

(あいさつ)

司会（関口課長）

ありがとうございました。

以上をもちまして、令和7年度第1回久喜市健康福祉推進委員会を閉会とさせていただきます。

本日はお忙しい中、ご出席をいただき誠にありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和 8年 3月 26日

久喜市健康福祉推進委員会 会長 樋口 勝啓

審 議 会 等 会 議 録

(注)特に署名等を要しない審議会等については、事務局名を記入する。